

1 研究主題

「 社会に開かれた学びを行う社会科授業づくり 」

2 主題設定の理由

県中社研では、「社会に開かれた中学校社会科の学びをめざして」という研究主題のもと、学びのSTEAM化、学びの個別最適化をサブテーマに活動している。

これを受けて、小城多久支部では、昨年度より3年間にわたって歴史的分野の学習に関する研究を行っている。研究の具体的な内容としては、現実社会の社会問題等を取り入れたパフォーマンス課題づくり、パフォーマンス課題解決に向けて生徒に裁量のある学習活動、テキスト、自分、他者等との対話のある学習活動、教室から社会へ拡張する市民や市民社会との協働的な学びの機会の創出があげられる。

これらを意識した授業実践を積み重ねていくことで、現行の学習指導要領にある「主体的・対話的で深い学び」や社会科の目標である「公民的資質の基礎を養う」ことにせまるものであると考える。

3 本年度の研究の実際

(1) 第1回小城多久地区社会科部会研修会（令和5年 8月 4日（金））

・県中社研により提示された研究主題についての研修及びその後の活動の確認

(2) 第2回小城多久地区社会科部会研修会（令和5年11月 2日（木））

・支部内の代表者による研究授業参観と授業研究会及びその後の活動の確認

「ヨーロッパのどの近代革命が人々を幸せにしたのかを考えよう」（東原摩舎東部校 古賀教諭・光田教諭）

(3) 第3回小城多久地区社会科部会研修会（令和6年 1月中予定）

・各校の実践の報告（その1）及び討議

(4) 第4回小城多久地区社会科部会研修会（令和6年 3月中予定）

・各校の実践の報告（その2）及び今年度の研究の振り返り

4 成果と課題

昨年度より進めている研究を継続したことにより、歴史的分野の学習について支部内の社会科教員の共通理解・共通実践につなげることができた。特に、支部内の代表者による研究授業においては、パフォーマンス課題の設定の工夫や、ラーニングパートナーや生徒間での意見交流の有効性などを共有することができた。またタブレット（ICT機器）を用いたグループ活動からは、これからの学習の在り方の可能性について考えることができた。

今後、支部内においては、パフォーマンス課題を設定しにくいとされる歴史的分野の学習において更に活発な実践交流と議論が求められる。実践のデータベース化や、ラーニングパートナーの活用を含む「学びのネットワーク一覧表」の作成へとつなげていきたい。

8年1組 社会 学習指導案

日 時 2023年11月2日 (木)
場 所 8年1組教室
生徒数 36名
指導者 古賀 貴士(T1)
光田 新吾(T2)

1 単元名

欧米における近代化の進展 (東京書籍 P150～159)

2 パフォーマンス課題 (単元の問い)

ヨーロッパのどの近代革命が人々を幸せにしたのか考えよう

3 学習内容

本単元は、学習指導要領 (歴史的分野) の内容「C 近現代の日本と世界」の「(1)近代の日本と世界」の「(7)欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き」にあたる。ただし、今回は、欧米における近代社会の成立までを取り上げる。この学習に際しては、「市民革命によって、政治的な対立と社会の混乱、そこで生じた犠牲などを経て近代民主政治への動きが生まれたこと」や「産業革命によって、資本主義社会が成立したことや、労働問題・社会問題が発生したこと」に気付き、「近代革命によって、社会がどのように変化したのかを理解できるようにする」というねらいを実現することが大切である。

本学習では、社会の変化を人々の生活の変化という目線に置き換え、また「幸せ」という価値尺度を使って、歴史的事象を政治や経済など複数の側面から多面的・多角的に考察させ、近代革命がもたらした歴史的意義について考えさせることがねらいを実現する有効な手段だと考えられる。そこで、パフォーマンス課題 (単元の問い) 「ヨーロッパのどの近代革命が人々を幸せにしたのか考えよう」を設定した。

4 生徒の状況

本学級の生徒は、社会への関心を持ち、学習課題に対して真面目に取り組む生徒が多い。一方で、自分の言葉で説明したり、考えを記述したりすることについては苦手意識を持っている生徒も多い。この現状を解決する取り組みとして生徒が興味をもてるパフォーマンス課題を設定した授業内容を展開し、その中で、相手に伝わる、分かりやすく伝えるために必要な知識や技能を身に付け、表現する力を高めさせたい。

また、本学級には特別支援学級の生徒 (知的 2 人、情緒 3 人、難聴 1 人) が、T2 や学校教育支援員のサポートを受けながら交流学級である 8 年 1 組の社会科の授業に参加している。

5 学習方法

単元最後のパフォーマンス課題解決の学習では、まずこれまでの学習内容や LP との対話をもとに作成した一次意見文を 4 人グループを作り、意見交流を行う。その活動の中で、他者と比較検討させることで、最終意見文の作成における自分の考えを再考する契機としたい。また、最終意見文の発表については、意見交流とは別のグループで行うことで、さらに級友の多様な意見や考えにふれることで歴史的事象を複数の側面から多面的・多角的に考察させる機会としたい。

6 評価方法

最終意見文については、PDF データで全員に提出させて評価を行う。また、Teams 上で他グループの級友の意見文も閲覧することができるようにすることで、今後の学ぶ意欲につなげていきたい。

7 本時の授業

(1) 本時の目標

パフォーマンス課題（単元の問い）「ヨーロッパのどの近代革命が人々を幸せにしたのか考えよう。」について、級友との意見交流から意見文を再考し、自分の言葉で説明することができる。

(2) 本時の評価基準

ア 級友との対話・意見交流を積極的に行いながら、単元の問いの探求を意欲的に行おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

イ ヨーロッパのどの近代革命が人々を幸せにしたのかについて、歴史的事象を多面的・多角的に考察し、考えを書いている。【思考・判断・表現】

(3) 本時の授業過程【全6時間 本時6/6】

過程	学 習 活 動	○教師の働きかけと◇評価（四角囲み） ●つまづいている子への手立て
導 入	1 本時のめあてと、授業の流れを確認し、見通しをもつ。	○電子黒板に提示し、全体で確認する。
	めあて：ヨーロッパのどの近代革命が人々を幸せにしたのか考えよう	
展 開	2 班で一次意見文の交流をする。 ・3～4人グループになり、意見交流をする。	○タブレット端末で意見文を共有しながら、意見交流を行うように指導する。 ●机間巡視を行い、スムーズな意見交流ができるように支援する。（T1, T2）
		◇級友との対話・意見交流を積極的に行いながら、単元の問いの探求を意欲的に行おうとしている。（観察） 【態度】
	3 最終意見文を作成する。 ・一次意見文をもとに、意見交流で得た級友の考え方や視点をもとに加筆および修正を行う。	○級友との意見交流を踏まえて、意見文を再考し、最終意見文を完成させるように声かけする。
		◇ヨーロッパのどの近代革命が人々を幸せにしたのかについて、歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自分の考えを書いている。（ワークシート）【思考・判断・表現】 ●机間巡視を行い、手が進まない生徒の支援をする。（T1, T2）
ま と め	4 最終意見文を発表する。 ・一次意見文とは別の級友とグループになり、発表を行う。	○タブレット端末で意見文を共有しながら、聞くように指導する。
	5 本単元の学習の振り返りとして感想文を記入する。 6 次時の学習を確認する。	○感想文をExcelファイルに記入させる。 ○本単元と次時からの学習のつながりを意識させるような話をする。

【単元の問い】：ヨーロッパのどの近代革命が人々を幸せにしたのか考えよう。

近代革命：イギリス革命（ピューリタン革命・名誉革命）、アメリカ独立革命、フランス革命、アメリカ南北戦争、産業革命

○それぞれの近代革命の幸せポイントを探そう。

近代革命	幸せポイント	その出来事がどのように人々を幸せにしたのか具体的に書こう。
	/10	
	/10	
	/10	
	/10	
	/10	

※幸せポイントは、出来事に直接関係した人々→世界の人々→現代の人々と広がるにつれポイントを高くつけてください。

○OLP(保護者や先生)の考え

・LPIに「幸せな社会とはどんな社会か」を、歴史の学習で考えていることを伝えて質問してください。

お名前	考え

※必ず1名以上保護者には質問をしてください。保護者とは18歳以上の成人とします。

※必ず2名以上質問をしてください。

※質問をする人は、年齢が10歳以上離れた人に質問をしてください。

【単元の問い】：ヨーロッパのどの近代革命が人々を幸せにしたのか考えよう。

○これまでの学習で使用した幸せポイントシートをもとに自分の考えをまとめよう。

【意見文】
あなたが選んだ2つの近代革命は、どのような点で人々を幸せにしたのか、LPに質問した内容や学習したことを振り返りながら、できるだけ具体的に書こう。

①【
】

②【
】

【近代革命】
[イギリス革命(ピューリタン革命・名誉革命)、アメリカ独立革命、フランス革命、アメリカ南北戦争、産業革命]

○単元のまとめの評価表

評価項目と基準	A	B	C	自己評価
主体的に 取り組む態度	級友やLPとの対話・意見交流を積極的に行いながら、単元の問いの探求を意欲的に行おうとしている。	級友やLPとの対話・意見交流を行いながら、単元の問いの探求を意欲的に行おうとしている。	Bに達していないもの。	A ・ B ・ C
思考・判断・表現	ヨーロッパのどの近代革命が人々を幸せにしたのかについて、歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自分の考えを書いている。	ヨーロッパのどの近代革命が人々を幸せにしたのかについて、自分の考えを書いている。	Bに達していないもの。	A ・ B ・ C

